

令和7年度
山形県立保健医療大学大学院
保健医療学研究科（博士前期課程）
第2回 入学者選抜試験

専門科目（看護学分野）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は2ページ、解答用紙は2枚です。
試験開始の合図とともに、直ちに問題冊子、解答用紙を点検し、印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があったら、手を挙げて監督者に知らせてください。
ただし、問題の内容や解答の仕方についての質問は受け付けません。
3. 監督者の指示に従って、解答用紙のすべてに受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、解答用紙の解答欄に記入してください。
5. 解答用紙の※欄に記入してはいけません。
6. 解答用紙のホッチキス止めを切り離してはいけません。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
8. 試験中は監督者に許可なく自席を離れたり、私語や談笑をしてはいけません。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

1

次の2つの図表から、歯科保健に関する以下の問いに答えなさい。

表1 20本以上の歯を有する者の割合の年次推移 (%)

年齢階級 (歳)	平成5年 (1993年)	平成11年 (1999年)	平成17年 (2005年)	平成23年 (2011年)	平成28年 (2016年)	令和4年 (2022年)
45～49	88.1	90.0	95.0	97.1	99.0	97.9
50～54	77.9	84.3	88.9	93.0	95.9	95.5
55～59	67.5	74.6	82.3	85.7	91.3	94.9
60～64	49.9	64.9	70.3	78.4	85.2	89.3
65～69	31.4	48.8	57.1	69.6	73.0	81.4
70～74	25.5	31.9	42.4	52.3	63.4	72.1
75～79	10.0	17.5	27.1	47.6	56.1	55.8
80～84	11.7	13.0	21.1	28.9	44.2	45.6
85～	2.8	4.5	8.3	17.0	25.7	38.1

(参考)

80歳	10.9	15.3	24.1	38.3	51.2	51.6
-----	------	------	------	------	------	------

※ 80歳の割合は、75歳以上85歳未満の20本以上歯を有する者の割合から推計

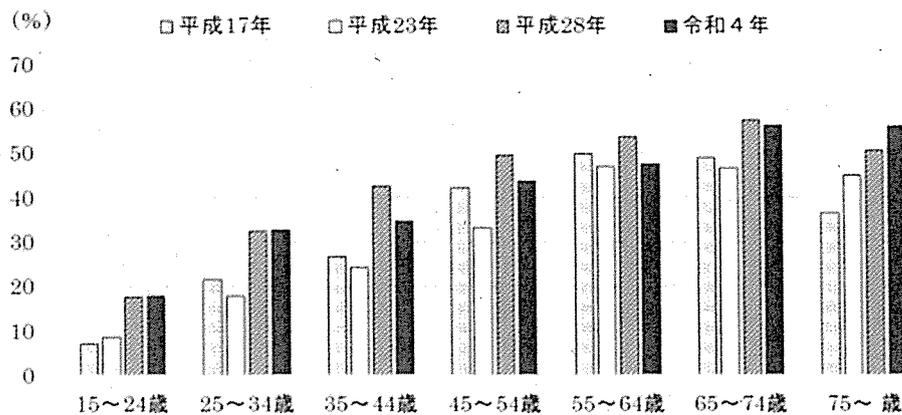


図1 歯周ポケット(4mm以上)を有する者の割合の年次推移、年齢階級別

出典：厚生労働省：令和4年歯科疾患実態調査結果の概要
<https://www.mhlw.go.jp/content/10804000/001112405.pdf>

問1 歯・歯肉の状況について読み取れることを4つ以上、列挙しなさい。

問2 これまで実施されてきた保健事業・対策を2つ以上挙げ、その概要を説明し、問1で回答した状況と関連させて解説しなさい。

2

障害者基本法では、障害者の定義を、「身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む。）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する。）がある者であつて、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。」(第二条)と規定している。この定義に関する以下の問いに答えなさい。

問1 この定義は、平成 23 年 8 月に改正されたもので、障害の「社会モデル」の考え方を踏まえて規定された定義である。障害の「社会モデル」、障害の「医学モデル」についてそれぞれ説明しなさい。

問2 下線の「社会的障壁」を異なる観点から 3 つあげ、解答欄の「例)」に従い、それぞれ説明しなさい。また具体例を挙げなさい。なお、解答の際は、「例)」とは別の観点を記述すること。